

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和6年12月24日

袋井市長定例記者会見資料

教育部生涯学習課（袋井図書館）

県内初！市立図書館と学校図書館が繋がる「まちじゅう図書館」がスタート

～児童・生徒が学校で市立図書館の本を取り寄せ可能に～

◇本市は、県内で初めて市立図書館と学校図書館のシステムを繋げ、児童生徒が多くの本に出会える環境を提供する「まちじゅう図書館」の運用を、2025年（令和7年）1月から開始する。

◇「まちじゅう図書館」の開始に合わせて、電子書籍の貸出、本のセルフ貸出・返却といった各種サービスも始まる。

◇2025年（令和7年）1月23日（木）、袋井南中学校でメディア向けのお披露目会を開催する。

【概要】

1 導入するサービス

- (1) 市立図書館と学校図書館のシステム連携
- (2) 電子書籍の貸出開始
- (3) ICタグによるセルフ貸出・返却
- (4) 「ふくぶっく通帳」の全校での印字対応

※詳細：別紙参照

2 対象施設

- (1) 市立図書館3館（袋井図書館、浅羽図書館、月見分室）
- (2) 市内12小学校図書館
- (3) 市内4中学校図書館

3 サービス開始日程

- (1) 市立図書館 2025年（令和7年）1月7日（火）9:30 ※月見分室 9:00
- (2) 電子書籍貸出 2025年（令和7年）1月7日（火）9:00
- (3) 学校図書館 2025年（令和7年）1月23日（木）以降順次オープン

4 メディア向けお披露目会

- (1) 日時 2025年（令和7年）1月23日（木） 12:50～13:15
- (2) 会場 袋井南中学校図書室

5 「まちじゅう図書館」イメージ図



【お問い合わせ先】

袋井市 教育部 生涯学習課 袋井図書館（担当：小久江）

電話：0538-42-5325 FAX：0538-45-0569 メール：fukuroitosyokan@city.fukuroi.shizuoka.jp

まちじゅう図書館は・・・新しい読書スタイルを提供します

たくさんの本を

身近な場所で、手軽に

楽しめる

これまで



◆学校図書館蔵書

1校あたり平均1万冊

これから



市立図書館や
他の学校図書館の蔵書
約**50**万冊に

50倍アップ



- ・児童生徒の学習用端末から、どんな本があるか検索できる。
- ・電子書籍1,000冊を新たに導入する。

これまで

◆借りたい人が
市立図書館に行く



これから

借りたい
本が学校に**届く**
学校で貸出・返却が可能に



- ・学校から借りたい本が予約できる。
- ・予約した本を図書館職員が配本。学校に返せば、所定の図書館に返送される。

これまで

◆本の貸し出しは対面



これから

スピーディーな
セルフ貸出・返却
も可能に...



- ・手続きに要する時間が短縮される。
- ・プライバシーが配慮される。

これまで

◆紙の図書貸出のみ。

1冊につき

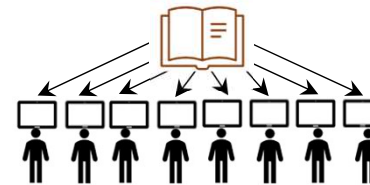
1人しか読めない



これから

電子書籍約1,000冊のうち、
約**270**冊は

同時に何人でも可



- ・一部の電子書籍約270冊は、児童書籍として待たずに読める。
- ・朝読書や調べ学習など、学校授業などの利用が想定される。

これまで

◆「ふくぶつく通帳」
図書館で記帳



これから

学校でも記帳
できる



- ・本を楽しんで読んでもらうための読書記録帳。
- ・専用印刷機が図書館にしかなかったが、全小中学校に設置する。

- 図書館と学校図書館で同一のシステムを導入することで、学校にしながら様々なサービスが利用可能になる。
- これまで実施していなかった電子書籍の貸し出しを開始、あわせてICタグを導入して利便性を向上する。

